

学びと育ちをつなげる保幼小接続 ～遊び込みから学び込みへパートⅡ～

昨年度に開催した「遊び込みから学び込みへ」の講座が好評だったため、パートⅡとして講座を開きます。この講座では、保幼小連携・接続の実践例を数多く交えながら、子どもたちの学びの連続性を保障するために大切にしたい考え方について、鳴門教育大学の木下光二先生にご講演いただきます。

木下光二先生は、小学校と幼稚園の両方の勤務を経て、鳴門教育大学に勤務されています。小学校勤務時は、8回の1年生担任をされた経験があります。そして、幼稚園勤務では5歳児を受けもたれたそうです。「人生であんなに大変だったことはなかった」と、笑顔で話されていました。幼小の両方の経験をお持ちだからこそ感じ、考えていらっしゃることをお聞きし、学んでいきたいと思います。



日 時 平成30年8月10日（金）13：30～16：30（13：00受付開始）

会 場 生活学習館多目的ホール（〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1）

日 程 13：00～13：30 受付

13：30～13：35 開会挨拶

13：35～15：05 講演会 鳴門教育大学 木下光二 教授
「学びと育ちをつなげる保幼小接続
～遊び込みから学び込みへパートⅡ～」

15：05～15：15 質疑応答・感想交流

15：15～15：30 休憩

15：30～16：10 グループ協議

16：10～16：30 質疑応答、アンケート記入、閉会

申込み すでに申込みの受付は終了しています。（各小学校区での〆切 平成30年6月13日）

持ち物 会場に机はありませんので、必要な方はクリップボード等をご持参ください。

問合せ 福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援グループ（0776-20-0732）
福井県幼児教育支援センター（0776-41-4231）

※講師紹介 木下光二氏

○鳴門教育大学大学院学校教育研究科教員養成特別コース教授

○徳島県公立小学校教諭から鳴門教育大学附属小学校教諭・教頭、鳴門教育大学附属幼稚園教諭・教頭を歴任

○研究分野は、幼児教育および小学校教育、教師教育、情報教育

○文部科学省「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議」委員

<保幼小接続と新要領等との関わりから>

新幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・保育所保育指針の3歳以上の教育の部分は共通化され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示されました。保育者には、幼児期の子どもを育てていくことが求められています。また、新小学校学習指導要領の総則「学校段階等間の接続」の中で、幼児教育と小学校教育の接続が明記されました。小学校教員には、幼児期の子どもを育てるを理解し小学校教育につなげていくことが求められています。